

監督および競技者に対する大会開催における注意事項

本大会は新型コロナウイルス観戦拡大防止のため、2020年度日本陸上競技連盟規則および駅伝競走規定ならびに本大会規則によって行う。また日本陸上競技連盟による「ロードレース再開についてのガイダンス（第2版 / 2020年8月11日改訂）」に沿って、安心・安全に配慮して開催します。

1. 出場競技者について

監督は男女とも正式オーダーを本部受付にて、8:00～8:30の間に記入する。正式オーダー提出後の競技者変更は、病気・不慮の事故等の場合に限る。また、その可否については監督会議で決定する。なお、競技者の変更が認められた場合は、補欠選手をその区間の交代として補充するものとする。

2. 競技について

競技者は要項記載のアスリートビブス（胸・背）をユニフォームの胸背にとりつける。タスキは各校で準備する。

レース中に不慮の事故等で競技を中止した場合、駅伝競走実施基準により次走者を出発させる。この場合、出発時刻は最後尾走者の1分後以降とし、レースの状況をみながら審判長が設定する。その際、記録は総合成績は無効となるが、事故のあった区間以外の区間記録は認める。

競技者はコース上の左側を走らなければならない。ただし、第1区のスタート地点から南へ500m地点を通過するまではこの限りではない。

タスキは肩から腋の下にかけなければならない。かけていないと失格となる場合がある。ただし、前走者がタスキを外すのは中継地点手前400mから、次走者がタスキをかけるのは中継後200mまでを、およその目安とする。

競技中は、伴走および飲食物の提供・補給などの援助はできない。疑わしき行為のあったときは、失格となる場合がある。

中継点でタスキを渡し終わった競技者は、すみやかにコース外に出て手指消毒を行うこと。

出発はスタート3分前に競技服装となり、1分前で出発線にならぶ。

出発は次の様に合図する。

第1区走者にスタート1分前を予告。秒読みは30秒前、20秒前、10秒前を通告し、その後「オン ユア マークス」をかける。これで用意の姿勢をとる。

中継所でのタスキの受け渡しは、中継線からその前方20m以内とする。

競技会中の疾病・負傷については、応急処置のみ行う。大会期間中の事故については、日本スポーツ振興センターの定めを適用する。

大会当日のコース上での練習は、8時50分までとする。

コースを間違えた場合、失格の原因となるが、その処遇については審判長が裁定する。

応援については、手拍子・拍手のみとする。声を出しての応援及び、集団での応援は禁止とする。

3. その他の注意事項について

参加者はマスクを着用する。選手は運動以外の場面ではマスクを着用すること。

競技者およびチーム関係者は、下記の書類を学校ごとにまとめて学校受付時に提出すること。提出しない者の参加は認めない。

エントリー選手 「体調管理チェックシート」

競技役員・チーム関係者 「体調管理チェックシート」

学校関係者 「体調管理チェックシート」を提出し、入場許可証を配布

中継点付近には、エントリー選手・競技役員・チーム関係者（監督・顧問・外部コーチ）
学校関係者（校長・教頭など）以外は、中継点付近に立ち入ることはできない。

保護者の応援に関しては、以下の立ち入り禁止区域を設定する。

- ・大会本部より北は、全て立ち入り禁止とする。（折り返し地点Bの方向）
- ・大会本部より南は、本部より100m付近までは立ち入り禁止とする。
- ・立ち入り禁止区域にはコーン等で仕切るのので、その中には入らないよう協力をお願いします。声をだしての応援、集団での応援は禁止する。（手拍子・拍手等は可とする。）

トイレは本部後方東の階段を上がり、歩行者専用道路（日・祝）を渡ったトイレを利用する。その際には、自転車等の横断があるため、左右をよく確認して通行する。

エントリー選手・競技役員・チーム関係者以外のトイレの利用は、西武庫公園内のトイレの利用をお願いします。

エントリー選手・競技役員・チーム関係者は、大会本部・中継点付近・トイレ前に設置されたアルコール消毒液で手指消毒を徹底する。また手洗い場のハンドソープで丁寧に手洗いをする。大会結果は、すべて尼崎市中学校体育連盟陸上競技部HPにて掲載する。掲示板等による記録の張り出しはしない。大会終了後、各校顧問に総合結果を配布する。

ミーティングは、感染拡大防止対策を講じて、連絡事項などの必要最小限度にとどめる。

大会終了後は、すみやかに帰路につくこと。